

平成24年1月31日
独立行政法人理化学研究所
横浜研究所
契約担当役
研究推進部長 渡辺その子

入札公告

下記のとおり一般競争入札に付します。

記

1. 競争に付する事項

- (1) 件名 ヒトゲノム多型解析・遺伝子改変動物を用いた実験業務に関する労働者派遣(23-横-039)
- (2) 仕様 別に交付する仕様書のとおり
- (3) 履行期間 自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
- (4) 履行場所 〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7番22号
独立行政法人理化学研究所 横浜研究所
ゲノム医科学研究センター 基盤技術開発グループ
多型解析技術開発チーム

2. 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 独立行政法人理化学研究所契約事務取扱細則第5条の規定に該当しない者であること。
- (2) 国の競争参加資格(全省庁統一資格)又は独立行政法人理化学研究所競争契約参加資格のいずれかにおいて、平成23年度に「役務の提供等」の「A」、「B」、「C」又は「D」の等級に格付けされている者であること。
- (3) 「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律」(昭和60年法律第88号)に定める一般派遣元事業主又は特定派遣元事業主であること。
- (4) 本入札公告から開札の時までの期間に独立行政法人理化学研究所の物品購入等契約に係る取引停止等の取扱要領に基づく取引停止を受けていないこと。
- (5) 仕様書に規定する条件を全て満たすサービスを提供できること。

3. 提出書類の締切日時及び受付場所

- (1) 日時 平成24年2月14日 15時00分
- (2) 場所 神奈川県横浜市鶴見区末広町1丁目7-22
独立行政法人理化学研究所 横浜研究所 研究推進部 契約課
[担当: **畜**]

4. 入札保証金及び契約保証金 免除

5. 入札の無効

本公告に示した入札参加に必要な資格のない者のした入札及び入札の条件に違反した入札は無効とする。

6. 開札日

平成24年2月27日

7. 落札者の決定方法

- (1) 予定価格の制限の範囲内の金額を提示した競争参加者であって、別紙仕様書で規定する内容に適合し、採用し得ると判断した資料を提出した競争参加者の中から、最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者と定める。
- (2) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の5パーセントに相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数が生じた場合は、切り捨てた金額とする。)をもって落札価格とするので、入札者は、消費税にかかる課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった金額の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

8. 入札説明書

詳細は入札説明書による。

9. 入札説明書等の交付

(1) 交付期間 本公告の日から平成24年2月27日 15時00分まで

(2) 交付方法 理化学研究所ホームページ（調達情報）よりダウンロード
<http://choutatsu.riken.jp/r-world/info/procurement/>

10. 仕様書に対する質問受付

(1) 提出期限 平成24年2月7日 15時00分

(2) 提出場所 3. (2) に同じ

11. 入札説明会又は現場説明会

なし。

12. 派遣労働者が従事する業務の内容

独立行政法人理化学研究所 横浜研究所 ゲノム医科学研究センター 基盤技術開発グループ 多型解析技術開発チームが行うヒトゲノム多型解析・遺伝子改変マウスを用いた動物実験に関わる実験業務に関し、以下の業務を行う。

(1) ヒトゲノム 多型解析：疾患に関係する遺伝子をゲノム上に存在する多型を用いて検出することを目的とする。主に用いる実験手技は下記通りである。

- ・ Multiplex-PCR を用いたインベーター法、タックマン法による一塩基多型 (SNP) ジェノタイプピング
- ・ Primer3 などを用いたプライマーの設計
- ・ シークエンサーの使用
- ・ ゲノム配列とゲノム検体を比較し、新規 SNP の探索、既知 SNP の有無の確認 など

(2) 疾患関連遺伝子の機能解析：ヒトゲノムの多型解析により同定されたゲノム領域と疾患の関係を分子生物学的に探索する。主に用いる実験手技は下記の通りである。

- ・ 動物細胞の培養
- ・ トランスフェクション (エレクトロポレーション法、リポフェクション法)
- ・ 大腸菌を用いたプラスミドベクターの作成
- ・ realtime-PCR 法による遺伝子発現解析
- ・ 培養細胞からの total RNA 抽出、cDNA 作成 (RT-PCR)
- ・ レポーター・アッセイ
- ・ ウェスタン・ブロッティング など

(3) 遺伝子改変動物を用いた実験：既知もしくは新たに同定された疾患関連遺伝子の働きを調べるため、主に遺伝子改変動物を用いた実験を行う。また日常的に飼育繁殖管理を行う。主に用いる実験手技は下記の通りである。

- ・ 飼育繁殖管理 (個体識別 (イアーパンチ)、不要個体の処分 (頸椎脱臼など)、離乳 (雌雄判別)・交配)
- ・ 遺伝子改変マウスの尾切り、ゲノム抽出
- ・ PCR、Southern blotting (DIG 検出) による遺伝子改変マウスのジェノタイプピング
- ・ 解剖、病理標本の作成
- ・ 動物組織からの totalRNA 抽出、cDNA 作成、realtime-PCR 法による遺伝子発現解析
- ・ 免疫染色 など

(4) その他

- ・ 必要が生じた際には、前任者からの引継ぎ、後任者への引継ぎ (マニュアルの作成を含む) を行うこと。
- ・ その他関連事項の支援を行うこと。

13. 派遣労働者の要件

業務開始日時点で以下のすべての要件を満たすこと

(1) 生物学系大学学部で習得できる知識、経験等を有すること

- A) 基本的な分子生物学的手技一般に習熟している者
- B) 未経験実験手技についても熱意を持って取り組める者(未経験者の場合、手法の原理を理解し、指導のもと適切に実施できること)

(2) ヒトゲノム 多型解析

- ・ 下記手法について1年以上の業務経験があり、独力で行うことができること
 - A) インベーター法、タックマン法などを用いた一塩基多型(SNP)ジェノタイピング(大量検体(1日に2-3000人程度以上)のジェノタイピング経験が1年以上あることが望ましい)
 - B) ジェノタイピング、シークエンスプライマーの設計(Primer3の使用経験があることが望ましい)
- ・ 下記業務経験があることが望ましい
 - C) ウェブ上のデータベース(NCBI、dbSNP、UCSC Genome browserなど)を用いたゲノム情報の取得

(3) 分子生物学的手法を用いた疾患関連遺伝子の機能解析

- ・ 下記手法について1年以上の業務経験があり、独力で行うことができること(いずれも3年以上の業務経験があることが望ましい)
 - A) 動物細胞の培養
 - B) 培養細胞からのtotal RNA抽出、cDNA作成(RT-PCR)
 - C) taqman法を用いたrealtime-PCR
 - D) 大腸菌を用いたプラスミドベクターの作成(クローニング)

(4) 遺伝子改変マウスを用いた動物実験

- ・ 下記業務(A-B)について3年以上の業務経験があり、独力で行うことができること
 - A) 系統維持、飼育繁殖管理(個体識別(イアーパンチ)、不要個体の処分(頸椎脱臼)、離乳(雌雄判別)・交配時期のコントロール)
 - B) 遺伝子改変マウスの尾切り、ゲノム抽出
- ・ 下記業務(C-E)について、1年以上の業務経験があること
 - C) PCR、Southern blotting(non-RI)による遺伝子改変マウスのジェノタイピング
 - D) マウス解剖による臓器採材
 - E) マウス組織からのtotal RNA抽出、cDNA作成(RT-PCR)

(5) その他

- A) 公的研究機関等において遺伝子組換え実験、微生物取扱実験、動物実験、ヒトを対象とした研究に1年以上携わったことがあること
- B) 日本語による業務上のコミュニケーションに支障がないこと
- C) Microsoft Excel、Word、PowerPointを用いたデータ処理の実務経験があること
- D) 積極性、協調性、柔軟性があり、臨機応変に対応できること
- E) 十分な健康状態で、本業務を遂行する上で支障の無いこと
- F) 齧歯類を飼育していないこと(当研究所 動物実験施設利用規定に基づく)

14. その他

契約に係る情報の公表：当研究所と一定の関係性を有する者と契約する場合には、当研究所からの契約者への再就職状況等について公表を行うものとする。詳細については、以下を参照のこと。

URL：<http://choutatsu.riken.jp/r-world/info/procurement/info/detail/id/000004431>